

第2節 情報交換・交流の場の構築と自主的取組の促進

第1項 環境情報の提供と共有化

1 環境ホームページ（ECOぐんま）の運用

県では、環境に対する理解を深めてもらうことを目的に、平成24年3月から群馬県環境情報サイト「ECOぐんま」を開設し、県内の環境に関する情報を発信しています。サイト内では、環境についてのイベント情報や、家庭でのCO₂排出量診断、EV充電マップ等の様々なコンテンツを見ることができます。

(1) 掲載コンテンツ

- ・新着情報
- ・おすすめ情報...家庭でストップ温暖化、電気自

動車の普及、3Rの推進、環境学習・活動のひろば、動く環境教室「エコムーブ号」、森の楽校、県立森林公園

- ・分野別情報...地球温暖化、大気・水・土壌、自然環境、森林保護・緑化、廃棄物・リサイクル対策
- ・行政資料等...条例・規則、計画・プラン、環境白書、環境アセスメント

(2) ホームページアドレス

<http://www.ecogunma.jp/>

2 試験調査研究の推進、成果の公表

衛生環境研究所では感染症・食中毒などの衛生・医療及び水・大気などの環境保全に関する調査研究を実施しています。

環境分野では、平成18年度から温泉を含めた水

環境保全に重点を置き、水環境・温泉研究センターを設置して研究を進めています。

平成25年度に実施した主な調査研究のテーマは、表2-5-2-1のとおりです。

表2-5-2-1 衛生環境研究所における主な調査研究

	調査研究テーマ	内容
1	大気中微小粒子状物質の化学特性と発生源寄与の解明	県内各地の大気中微小粒子状物質（PM2.5）の汚染実態と発生源寄与を把握するため、PM2.5成分分析調査を実施した。地域や季節による組成の違いについて解析するとともに、発生源寄与解析を行った。
2	大気環境に関する体験型環境学習プログラムの創設について	浮遊粒子状物質（SPM）に関する子ども向けの体験型環境学習プログラムを作成した。これに基づきエコクラブと環境学習を实践したところ、SPMを指標に大気環境を科学的に捉える重要性を子ども達が理解できた様子が窺えた。
3	神流川上流域の森林における窒素飽和の実態に関する研究	窒素濃度が比較的高い神流川の上流域森林中の渓流水および大気降下物について調査した結果、神流川上流域の森林から一様に窒素が流出しているのではないこと、森林の違いにより窒素流出負荷量に差が出る可能性があることが示唆された。
4	水質汚濁事故発生時の原因究明方法に関する検討	当所における水質汚濁事故の原因究明態勢を見直すにあたり、他県での水質汚濁事故対応への取組みを参考にするため全国環境研協議会所属の機関へ水質汚濁事故の発生件数等と水質汚濁事故への対応についてアンケート調査を実施した。
5	草津湯畑における硫化水素ガス濃度低減効果に関する調査研究	草津湯畑による硫化水素ガス濃度の低減効果を検証するために湯畑を通過する温泉を複数地点で採水し、硫化水素ガス濃度の分析を実施した。
6	水環境健全性指標を利用した河川生態系評価に学ぶエコツーリズムの開発（高崎経済大学との共同研究）	神流川を活用した新しい環境学習プログラムの開発を目指し、その水質に関する詳細なデータを収集すべく調査を実施した。
7	PM2.5の短期的／長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明（国立環境研究所との共同研究）	PM2.5の環境基準超過要因を明らかにし環境対策に資する知見を得ることを目的に、国立環境研究所と複数の地方環境研究所と共同で、PM2.5高濃度時における成分データの解析を実施した。
8	微小粒子状物質（PM2.5）に含まれる有機汚染物質の測定と遺伝毒性評価（国立環境研究所との共同研究）	PM2.5に含まれる有機物質に焦点を当て、その遺伝毒性および発生源要因の解析を行い、健康影響に関連する基礎データを得ることを目的に大気観測を実施した。

3 啓発イベント(ぐんま環境フェスティバル、森と木のまつり、ぐんま山と森の月間、ぐんま山の日)の開催

(1) ぐんま環境フェスティバル

「ぐんま環境フェスティバル」は循環型社会の実現に向けて、環境問題の現状や取組などを楽しく、分かりやすく「学び」「考える」ことを目的に、県や関係団体等で構成する「ぐんま環境フェスティバル実行委員会」が主催し、開催しているイベントです。平成25年度には第15回目を迎えました。

【平成25年度の開催状況について】

- ・開催日 平成25年10月5日(土)
- ・場所 高崎市 ヤマダ電機 LABI1高崎
- ・来場者数 約5,000人
- ・内容 新エネルギー・自然エネルギーに関する展示、企業・団体等の出展、EV等の展示、高校生による環境への取組紹介、自然素材を使った創作体験や各種イベント等

(2) 森と木のまつり

「森と木のまつり」は、森林が有する多面的機能や、県内林業・木材産業、山村の文化・産業などを紹介し、多くの人々に山村の魅力や役割などを理解していただくとともに、相互の交流を通じて、木材産業及び山村地域の活性化を図るためのイベントです。

森林事務所等が、他の行政機関や各種団体と協力して実行委員会をつくり、県内各地域で開催しています。

(3) ぐんま山と森の月間・ぐんま山の日

毎年10月は「ぐんま山と森の月間」です。

民間団体と行政機関による「ぐんま山と森の月間推進協議会」では、この期間を中心に、登山大会や自然観察会、森林ウォークや林業体験会など、県民参加型のイベントを実施しています。

平成25年度は、「ぐんま山と森の月間」協賛イベントとして、41のイベントを開催し、合計2万8千人以上の方々に参加いただきました。

また、平成22年に第34回全国育樹祭が本県で開催されたことを記念して、育樹祭が開催された10月の第一日曜日を「ぐんま山の日」と定め、毎年、記念講演会やフォトコンテストを実施して、山や森林への理解と関心を深めていただくための取組を行っています。



「森と木のまつり」の様子

第2項 県民・民間団体の取組への支援

1 環境アドバイザーの登録、支援、活用

環境保全活動の地域リーダーとして活躍する人材の育成・支援のため平成4年度から群馬県環境アドバイザー制度を設け、平成26年7月25日現在、280名の環境アドバイザーが県に登録し活躍しています。

【環境アドバイザーの活動概要】

環境ボランティアとして、環境美化活動、地球温暖化対策、ごみの減量や自然エネルギー等、様々なテーマで活動しています。

平成11年度から環境ボランティアに委託している「地域環境学習推進事業」も、主に環境アドバ

イザーが企画・立案・実施をしています。

また、環境アドバイザー相互のネットワーク作りのため、平成9年度に「群馬県環境アドバイザー連絡協議会」を設置しました。役員会・幹事会を随時開催し、重点活動内容について協議するとともに、会報「グリーンニュース」の発行、専門部会・委員会(ごみ問題、温暖化・エネルギー、自然環境、広報委員会)の運営、地域ごとに活動する地域部会など「行動する環境アドバイザー」をスローガンに専門性を伸ばしながら、アドバイザー同士のつながり